

サービス種別	・メール配信	・身元確認用シール	・QRコード付きシール	・GPS
採用市町村	仙台市・静岡市・浜松市・大阪市 等	札幌市・静岡市・浜松市 等	千葉市・さいたま市・横浜市 等	さいたま市・名古屋市・京都市・大阪市 等
サービス概要	認知症の方が行方不明になった際に、届出者からの申し出により、事前登録された協力者へ、メールにて捜索への協力依頼を送る。	<p>①氏名や住所・連絡先等を記載し靴の中等に貼付するシールを配布。 保護された後に連絡先等がわかるようにする為のシール。</p> <p>②個別番号のみが記載されているシール。 メール配信等と組み合わせて、本人を特定する為に使用する。</p>	<p>①QRコードを読み取ると電話番号とID番号が表示される。 表示された電話番号へ電話するとコールセンターに繋がります。ID番号を伝える事で個人を特定する。コールセンターが情報を聞き取り家族へ連絡をして、家族が保護に向かう。(役所や警察の電話番号が表示されるパターンもある)</p> <p>②QRコードを読み取ると、「どこシル伝言板」※に繋がります。利用者が登録した身体的特徴や既往症や行方不明時の状況等を見ることが出来る。また、現在地の居場所や健康状態、連絡先電話番号(原則公的機関のみ)を入力して送信することで、伝言板に掲載される。QRコードが読み取られたり、掲示板に書き込みがあった際に家族等の利用者にメールが届く。その掲示板上で安否情報等を家族等と共有する事で個人情報を開示せず、身元確認や家族への引渡しが可能となる。 ※専用伝言板の為、登録者とQRを読み取った人しか見ることができない。</p>	<p>・介護が必要な高齢者等を介護している家族等に対して、対象高齢者の位置を特定できる小型GPS端末機を貸出し、行方不明になった際、現在位置を早期に把握し情報提供するサービス。 利用者が自らシステムより発見するものと、利用者からの連絡により、オペレーターがシステムより発見するものなど様々なサービスがある。</p>
費用	本人負担なし	本人負担なし	本人負担なし	【GPS】費用負担有り。自治体によって負担額が違う。 月額400～1500円程
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・広く浅く市民に対し、協力募集ができる。 ・協力者が認知症について意識する機会にもなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発見や保護した際に個人を特定できるので、身元不明とならず、無事帰宅する事が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを読み取って連絡してもらえれば、無事保護される可能性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPSを持っている人の場所を特定できるので、発見性はかなり高い。
想定される課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・写真等の個人を特定する情報が少ないので、発見性は高いとは言えない。 	<p>①に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単純に氏名、住所等の個人情報を記載するシールなので、警察等に保護された状況でしか意味をなさない。 ・(貼る場所によっては)個人情報を常に晒しているため、防犯という意味でリスクがある。 <p>②に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールを受信していないと、IDのみでは意味をなさない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の人が自発的にQRコードを読む必要があるため、心理的ハードルは高いと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行方不明時にGPSを持参していないと意味が無いので、どのようにしてGPSを携帯してもらうか。 ・定期的に充電をしなければならない。(いざという時に使用できない可能性がある) ・採用する会社によっては、利用者自らシステムを操作して発見する必要がある。 ・月額費用が掛かる。
イメージ写真		<p>①</p>  <p>②</p> 	 <p>デモ用QR</p>  <p>②「どこシル伝言板」 左のQRを読み取る事で実際のサービス画</p>	 